

## 令和4年度学校評価「本年度の課題と改善の方向性等」

### 1 本年度の課題と改善の方向性

#### (1) 地域の人材を活用した教育活動の展開【教職員自己評価 No.24】

新型コロナウイルス感染症のため、地域人材の活用を積極的に行うことが難しい状況ですが、学部によって地域の身近な施設等を利用して地域の方々と関わる経験を積む学習を行いました。また居住地校学習においてはオンラインで行ったりしました。

今後も感染症対策を講じて実施方法を工夫するなどして、地域人材（地域資源）を活用した教育活動について検討し、実施していきます。

#### (2) 教育活動におけるICT機器等の有効活用【保護者アンケート No.7】

保護者の皆様から、児童生徒の実態に応じた利用や指導上有効であるのであれば利用してほしいなどの意見をいただきました。

現在、GIGAスクール構想により子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けた取組が進められており、本校においても推進が求められる内容です。

本校におけるICTの活用は、現在、授業の中での活用を中心に進めています。学部ごとに、児童生徒の実態に応じて様々な学習場面でICT機器等を活用しています。校内での授業におけるタブレット端末の貸し出し数も増えてきています。

今後も児童生徒の実態や学習のねらいを踏まえて活用していきたいと考えます。また、保護者の皆様へ授業での活用状況等をおたより等をとおしてお伝えしていきたいと思えます。

### 2 その他

#### (1) 通学バスの運行に関して

保護者の皆様から通学バスの安全運行及び運行時間について御指摘をいただきました。これまでも情報交換会等でバス会社へお願いをしておりますが、再度、各営業所あて文書で安全運行の徹底を依頼します。

#### (2) 個別の教育支援計画及び個人面談に関して

新入生と新4年生、転入生については、新担任が支援計画を作成し、5月の面談時に素案として提示させていただいております。事前に配付できると一番よいのですが、日程の兼ね合いで事前に配付するというのが難しい状況です。ただし、支援計画作成の日程確認や面談の日程を繰り下げることなどを今後検討していきたいと思えます。

在校生の保護者の皆様については、前年の2月の個人面談時に来年度についての変更点の確認・訂正、目標等の見直しについて話合いがなされており、昨年度の支援計画のコピーが手元にあると思えますので、そちらの支援計画を5月の面談時まで各御家庭で確認していただくと話合いがスムーズに行われるのではないかとと思えます。

#### (3) 進路支援に関して

今後も本人・保護者の気持ちに寄り添い、より丁寧に話をうかがい、必要なことを周囲に発信していくよう教職員に働き掛けていきます。また、卒業後の進路選択について、外部機関の力もお借りしながら方法を検討していきたいと思えます。

進路決定の時期は、生徒本人も保護者の方も大変だと思えます。卒業後働くと考えたときに、現在高等部では就労B型事業所を検討されている方のアセスメントを3年生の秋に実施しています。就労系を希望している方は全員2年生のうちにアセスメントができると、進路先を考える手助けになるのではないかと考えます。次年度は高等部2年生でできることを検討していきたいと思えます。